

第 6 回 SC 委員長会議報告

下記の内容で第 6 回 SC 委員長会議が開催されました。

日 時： 2004 年 7 月 23 日（金）13:00～17:00

場 所： 自動車会館ビル 1F 会議室

出席者： 各 SC 国内分科会委員長，JNC 委員長，副委員長，顧問，幹事団他

議事内容：

(1) 開会挨拶

川村委員長より，国際的な場で発言し，日本のプレゼンスを高めたいとのご挨拶があった。

(2) 林新副委員長挨拶

林新副委員長の挨拶があった。7/16 の執行委員会で正式に承認され，副委員長にご就任された。

(3) SC 委員長報告（報告順に記載）

B1：佐久間委員長

- ・企業が出張に出にくいとの報告があったが，海外か？（川村委員長）
- ・国内出張も含まれている。（佐久間委員長）
- ・CIGRE 内の企業の責任者に JNC からアクションが必要であるかもしれない。（川村委員長）
- ・AORC の WG への，日本からの参加は何名か？（小海幹事）
- ・現在の登録者は 2 名。（佐久間委員長）

B2：深海委員長

- ・長期にわたっている WG を解消して，新規テーマの WG を立ち上げるよう要請があるとのことだが，実際どの程度続いているのか？（小海幹事）
- ・長い WG は 10 何年と続いている。但し，テーマは実際どんどん変わっており，その都度報告はなされているので，WG の解消には否定的な声もある。（深海委員長）
- ・少数のプロジェクト毎に報告書をまとめて WG を解消し，新規テーマとして新たな WG を立ち上げようとする意図らしい。（竹内委員長）

B4：林委員長

- ・WG への参加に苦労している SC が多いが，B4 はどうか？（小海幹事）
- ・かなり無理がある。WG の参加人員をほとんど選べてないのが実情。（林委員長）
- ・SC ミーティング 2007 年日本開催の確度はどうか？（加藤幹事）
- ・確度は高い。（林委員長）

B5：竹内委員長

- ・ 2007 年の日本開催はないと思って良いのか？（加藤幹事）
- ・ 2007 年はスペインの予定で日本での開催見込みはない。2009 年開催を申し出て良いか？（竹内委員長）
- ・ 2009 年の申し出は OK。（加藤幹事）

C2：杉原委員長

- ・ パリ大会で、ニューオリンズの次にどこで開催するかとの議題は出るのか。（小海幹事）
- ・ 正式にはまだ議題にはない。話題には上がると考える。（杉原委員長）

C4：石井委員長

- ・ パワーフォーティ、安定度に対しては、日本から積極参加できていないということか？（小海幹事）
- ・ その通りであり、困っている。（石井委員長）
- ・ 本部レベルでは C4 の所掌範囲と思われるが、日本ではどこの委員会が詳しいか。（加藤幹事）
- ・ 国内では C1 と連携している。（石井委員長）

C5：内藤委員長

- ・ すべてのワーキングフォースにメンバーを出しているが、目的は？（加藤幹事）
- ・ 情報収集のために選択した。但し、ほとんど活動していないところもある。まだ、アンケートの段階であるので、メールの対応のみですむ場合が多い。（内藤委員長）
- ・ 会計士や弁護士を入れるという当初のまくりみはどうなっているか？（川村委員長）
- ・ 現状は、電力会社と規制当局、コンサルで、メーカはいない。弁護士も参加していない模様。（内藤委員長）

C6：小田切委員長

- ・ パリ大会での農村電化は中国等からの申請か？（川村委員長）
- ・ イタリア、アフリカ等を中心にしたヨーロッパ系の話。ワールドバンクの資金を調達するための基準決めに關するもの。（小田切委員長）
- ・ AORC にも使用できる可能性がある。（川村委員長）
- ・ 風力の WG の具体的な目的は何か？（林委員長）
- ・ 出力に変動のある設備の運用法をイメージしている模様。（小田切委員長）
- ・ 系統の連系というよりは、出力変動に関するところが多い模様。（福井幹事）
- ・ 周波数に関する問題であれば、C2 の対象に見える。（林委員長）

D2：山崎委員長

- ・ AORC には、D2 委員長も参加されていたか？（小海幹事）
- ・ D2 委員長および幹事が参加。（山崎委員長）
- ・ マレーシアから依頼されたのか？（小海幹事）
- ・ テーマが ICT であったので、マレーシアから依頼があったと思う。（山崎委員長）

A1：宮池委員長

- ・短期に集中している WG は実際には参加できていないのか？（小海幹事）
- ・活発に活動していないものもあるため、全部に弊害が及ぶわけではないが、やはり、影響はある。（宮池委員長）
- ・メンバー構成に関しては、活動しやすいように対応して頂ければよい。必要あれば、増やすとかの対応など。（加藤幹事）

A2：白坂委員長

- ・日本への SC ミーティング誘致予定は？また、前はいつだったか。（小海幹事）
- ・前回開催時期は少なくとも 10 年以上前にさかのぼる。2005 年までの予定が決まっているので、2007 年以後に開催できるよう働きかける。（白坂委員長）

A3：伊藤委員長

- ・本部の委員長の統制が効いている様に見える。ここに参加するといろいろなメリットがあるようだ。全体の運営の仕方でも成果が全く変わってくる。（川村委員長）
- ・他の SC では、WG に出にくいという意見も合ったが、A3 ではどうか？（加藤幹事）
- ・TMT&D に偏っている傾向はあるが、WG は毎回参加頂いている。（伊藤委員長）

C1：八木委員長

- ・ワークショップがパリ大会会期の前になっているが、理由は？（加藤幹事）
- ・セッション等で日程が取れなかったもの。（八木委員長）
- ・2007 年日本開催の確度は？（加藤幹事）
- ・前回、モントリオールでの提案時には、好印象を受けた。がんばれば、開催できると考える。C6、C1 との共同開催でも良いと考えており、委員長に連絡を取っている。（八木委員長）

C3：北村委員長

- ・2005 年の開催場所は決まっているか？（加藤幹事）
- ・日本からも積極的に働きかけているが、レスポンスがない。（北村委員長）
- ・2005 年に日本で開催できる可能性はあるのか。（加藤幹事）
- ・ゼロとは言えない。日本からは常に前向きな回答をしている。（北村委員長）

D1：長尾委員長

- ・優先論文が 3 つになったのは偶然か、日本ががんばっているのを認められているのか？（川村委員長）
- ・日本のがんばりは認められており、SC ベースで通常は 2 件通っている。今年は、これに加えて JNC ベースで 1 件通して頂き、3 件となった。（長尾委員長）
- ・日本から委員長を出すとなると、D1 ではないかという気がするが（川村委員長）
- ・30 代から継続的に顔を出してヨーロッパのコミュニティに入り込み、実力を認めてもらおうと同時に、かなりの語学力を有することが必要。SC D1 はリストラ対象になりやすいので、CIGRE の TC 幹事団メンバーに顔がきくことも重要。（長尾委員長）

B3：後藤委員長

- ・2005 年コロキウムの CALL FOR PAPER が作られているという話があったが、情報発

信したいのであれば、JNC Homepage の下につけることも可能。(福井幹事)

SC の日本開催予定と今後の方針

現状の予定は下記

2005 年 A3, B3 (以上確定), C3 (可能性あり)

2007 年 B1 (ほぼ決定), B4, C1 (確度高い), C6

2009 年 B5 (可能性あり)

6, 7 年日本での開催がないことから、予算には余裕があると中澤幹事より報告された。2007 年に一気に開催をして、その後長年に開催がなくなるのは避けたい。

JNC の方針としては、下記で対応する。

- 1) B1, B4, C1 がすべて 2007 年開催となった場合は、C6 は 2009 年の開催として申し出る。
- 2) C3 は本部委員長の意向に従う。
- 3) A1 も 2009 年以後を含め、計画頂く。

(4) AORC 会議報告

小海幹事より、AORC マレーシア会議についての報告がなされた。

(5) 2004 年第 40 回パリ大会開催について

- ・パリ大会の日程、参加人数、パーティーについての案内があった。
- ・SC 委員長は、日本主催パーティーには 19:00 に集合頂き、ご来客を接待頂くことになった。
- ・NC ミーティングは、加藤幹事、小海幹事が参加することが報告された。
- ・JNC では、フロッピードライブを持参しないので、JNC パソコンにデータを読み込む必要がある場合は、個人のパソコンに USB メモリドライバーをインストールするよう依頼があった。
- ・最優秀論文、優秀論文と、それぞれの選考理由が加藤幹事により紹介された。
- ・電気学会 B 部門誌へパリ大会関連の紹介記事を書くよう、各委員長に要請があった。

(6) 50 周年記念行事の報告 加藤幹事

(7) EC 会議の報告 小海幹事

(8) 執行委員会報告 中澤幹事

(9) 閉会挨拶

林副委員長より、本日の長時間の会議への協力御礼と、パリ大会の準備への協力依頼があった。

懇 親 会： 17:30～19:30 アルカディア市ヶ谷にて懇親会を実施した。

以 上